REVEL AUDIO
ULTIMA2

20cm 径 3 ウェイ・コンパクトスピーカーシステム

ULTIMA GEM2

取 扱 説 明 書

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

１： は じ め に

この度は REVEL AUDIO ULTIMA 2 スピーカーシステムをご購入頂きまして誠にありがとうございます。
REVELAUDIO は、JBL、マークレビンソンなどのオーディオブランドを有するハーマングループの一員であるハイエンド・スピーカーブランドです。ULTIMA 2 スピーカーシステムは、グループ各社との技術提携の下、理想のスピーカーシステムを目指して開発された先進のスピーカーシステムです。
本製品をより良く理解していただき、正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みください。

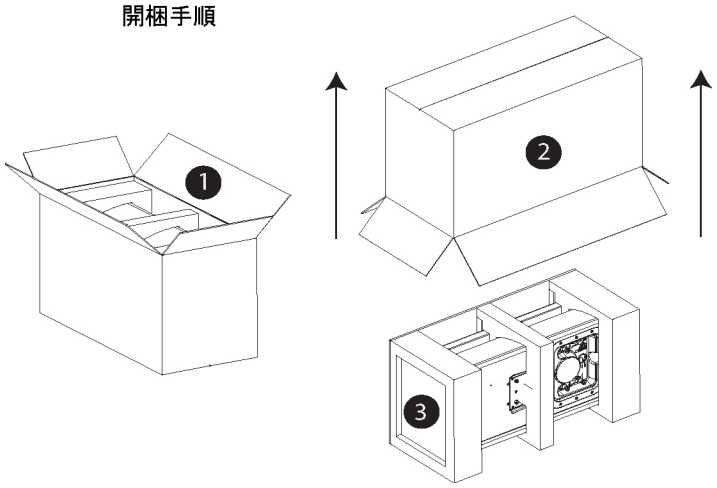
２： 開 梱 に あ た っ て

開梱の際は、以下の手順に従ってスピーカーをカートンから取り出してください。

① カートンボックス上面のテープを切り、蓋を開けて外側に折り返します。
② 開梱面を下にして、本体を床に伏せ、カートンボックスを上に抜き去ります。
③ グリルなどの付属品を取り出し、パッキン類を取り去ります。本体に被せてある布も外してください。

※本機の高域用ユニットには、輸送中の振動板保護のために赤いプラスチック製のカバーが取り付けられています。ご使用前にカバーを取り去ってください。

開梱手順



外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。
梱包内には、パッキン上部に以下の付属品が納められていますのでご確認ください。

・スピーカーグリル　　：１枚
・壁面取り付けブラケット　　：１枚
・ブラケット用テンプレート　：１枚

カートンボックスに保証書が添付されていますので、内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル･カートンボックスは､緩衝材等を含め開梱後もそのままお手元に保管くださるようお勧めします。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル･カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

３： 保 証 に つ い て

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。
過った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

４： 設 置 に つ い て

[設置に当たって]

本機は、部屋の壁面へ取り付けて使用する事を目的に設計されており、本機を壁に取り付ける際には壁面への加工が必要になります。取り付ける壁面の強度や適切な取り付け方法などについては、お住まいの住居の施工業者、建築士などにご相談ください。取り付けに不安がある方は、これら業者に取り付けを依頼される事をお勧めします。
本機を直接床や棚に置いて使用することは出来ません。本機を床に置いて使用するためには、別売の専用スタンド“ULTIMA GEM 2 STAND”が必要となります。専用スタンドを組み合わせる事

により、部屋のお好みの場所に自由に設置できる他、壁面に近接した設置や、壁に加工することなくスピーカー背面を壁にピッタリと沿わせて設置することも可能です。ご用命の際は、ULTIMA GEM2 購入店へご相談ください。

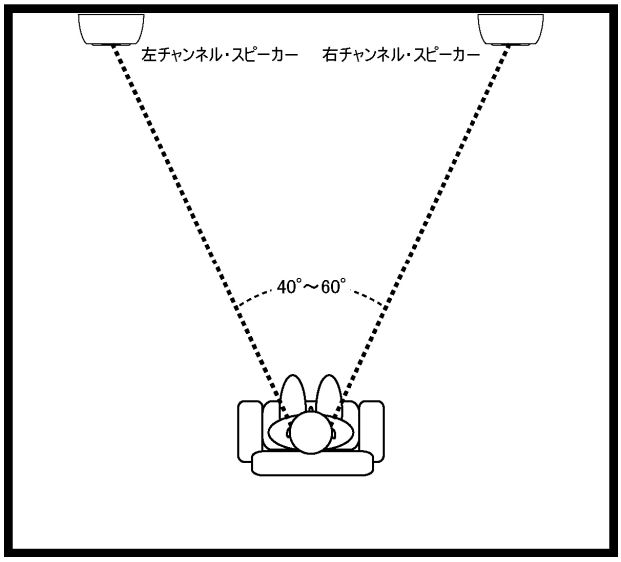
スピーカーは、発熱量の多いアンプの近くや、湿気や埃の多い場所、直射日光の当たる所などを避けて設置してください。

- ●本機には、磁力によるテレビ画面への影響を抑える防磁構設計が施されていますが、スピーカーが CRT ブラウン管式テレビに近接している場合、画面に色むらが生じる場合があります。このような場合には、スピーカーをテレビから少し離してご使用ください。なお、液晶テレビ、プラズマテレビなど、CRT ブラウン管方式でないテレビの場合は、磁気による影響はありません。
- ●また、本機の内部回路素子がテレビから放射される高周波磁気に反応し、ノイズや歪みを発生する場合があります。このような場合も、スピーカーをテレビから少し離してご使用ください。
- ●スピーカーシステムは耐久消費財です。温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光りや直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くなど、高温になる場所を避けてご使用ください。また、直射日光の当たる窓際への設置はご遠慮ください。

≪ セッティング ≫

ステレオ効果を最良にするために、スピーカーはリスニング位置の前方の壁に左右対称に設置してください。

設置例



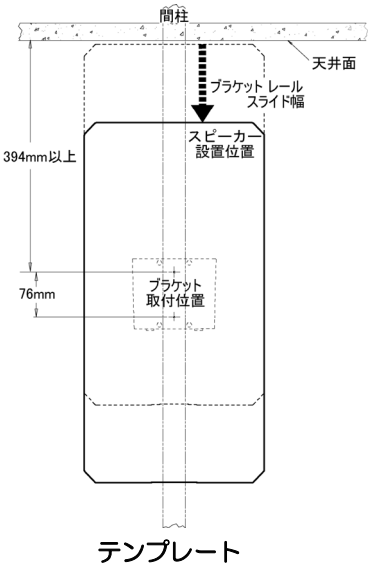
- ●左右のスピーカー間の距離は、左右のスピーカーとリスニング位置との位置関係から生まれる角度で決まります(右図参照)。左右のスピーカーの間隔が広い程、広がり感のある音場が得られますが、ボーカルなど中央定位の音像が弱まります。本機は、左右のスピーカーの中心部とリスナーを結ぶ線の内角が４０度～６０度の場合に最も正確なステレオイメージが再現されます。
- ●スピーカー設置の高さは、スピーカーの高域用ユニットの高さをリスニング位置でのリスナーの耳の高さに揃えることが基本となります。本機をリアスピーカーとして設置する場合は、リスナーの後方壁面の 1.6 ～1.8m の高さに設置すると良いでしょう。

Ⅰ.壁面への設置

本製品には、スピーカー本体を壁面に取り付けるためのブラケットが附属しています。以下の要領で壁面にブラケットを固定し、スピーカーの取り付けを行ってください。

[注意]

本製品には、ブラケットを壁面に取り付けるためのネジ類は附属しておりません。壁面の素材、構造、厚みなどに適合した物で、スピーカーの重量(約 15kg)に耐えられるネジを別途お求めください。使用するネジや適切な取り付け方法などについては、お住まいの住居の施工業者、建築士などにご相談ください。



テンプレート

① スピーカーを取り付けたい壁の位置に附属のブラケット用テンプレートを当て、鉛筆などを用いて壁面にブラケットを固定するネジ穴の位置をマーキングします。

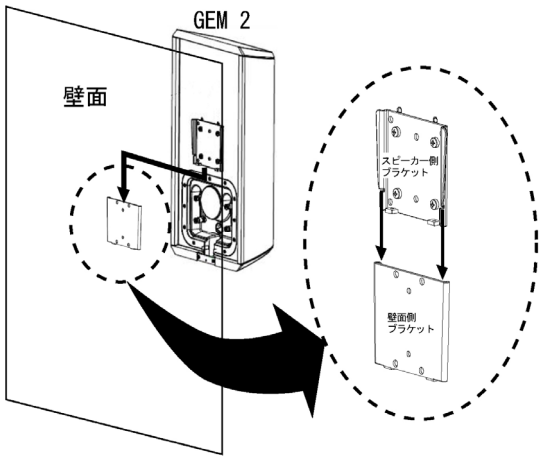
② マーキングされた位置にドリルなどを使用して下穴を開けます。必要であれば、壁面にアンカーなどを打ち込んでください。

③ ブラケットの上下を確かめ、壁面にブラケットをあてがいネジで固定します。使用するネジは 5～6mm 径の物で壁面の素材、構造、厚みなど

に適合した物をご使用ください。

④ 次項「接続と調整」を参照して、本機にスピーカーケーブルを接続し、ポジション切り替えを行ってください。

⑤ スピーカー背面に取り付けられているブラケットのレールの下端と、壁面ブラケットのレールの上端とを合わせ、スピーカーを垂直に降ろしてブラケット同士を結合させます。この時、スピーカーケーブルをブラケットに挟まないようご注意ください。



［ 注意 ］

本機を天井近くに設置する場合、ブラケットのスライド用スペースを確保するため、天井面からブラケットの上部取り付けネジ穴まで394mm以上の距離を確保してください。

Ⅱ.専用スタンドを使用した設置

本製品を床に設置するための専用スタンド“ULTIMA GEM 2 STAND”が別売で用意されています。専用スタンドを用いて設置する場合は、スタンドの取扱説明書をよく読み、スピーカーをスタンドに取り付けた上で設置を行ってください。

［ 注意 ］

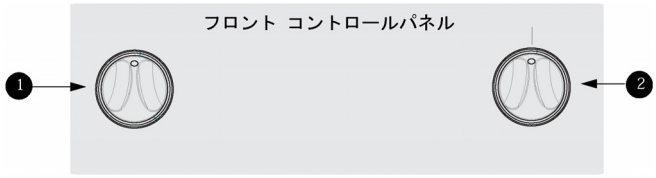
本製品に附属の壁面用ブラケットは、本体を専用スタンドに取り付ける際にも使用しますので、スタンドご購入の際も捨てずにお手元に保存しておいてください。

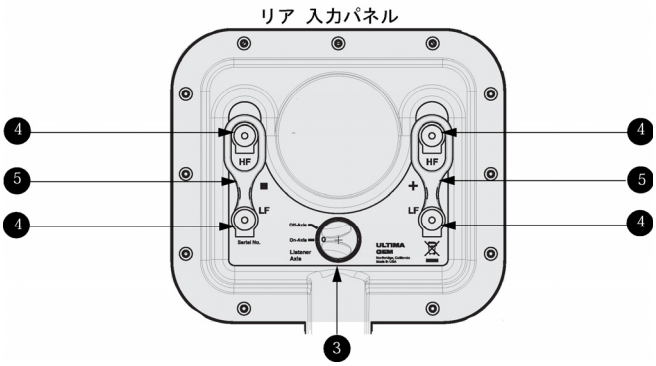
ULTIMA GEM2 + GEM2 STAND

5： 接 続 と 調 整

本機のフロントバッフルには、音質調整のためのコントロールパネルが装備されており、本体背面下部に接続、調整のための入力パネルがあります。各パネルには以下の機能が装備されています。

① 低域補正スイッチ
(Low Frequency Compensation)
② 高域レベルコントロールスイッチ(Tweeter Level)
③ アクシス･コントロール(Listener Axis)
④ 入力端子
⑤ ジャンパーストラップ





≪ 接続 ≫

本機の接続端子は、赤い端子がプラス(＋)、黒い端子がマイナス(－)に統一されています。良質なスピーカーケーブルを使用して、本機の入力端子と、使用するパワーアンプのスピーカー用出力端子とを接続してください。

●端子にはバナナ端子兼用の締め付け式スピーカーターミナルを使用しています。ターミナルのネジをゆるめ、先端の皮膜をむいたケーブルを端子の穴に差し込み、端子を締め付けて固定してください。ケーブルの芯線が太く端子の穴に入らない時は、芯線を端子の金属部に巻き付け、端子をしっかりと締め付けてください。

●安全、確実に接続するため、ケーブル端末にはＹ型端子またはバナナプラグの使用をお勧めします。

本機に装備された２組の入力端子は、バイワイヤリング接続に対応します。上が高域(HF)用、下が低域(LF)用入力端子です。以下の説明に従いそれぞれに合った接続方法を行ってください。

Ⅰ.1 組のスピーカーケーブルによるシングルワイヤー接続

付属のジャンパーストラップを取り付けたまま、上下どちらかの端子に接続します。高域用/低域

用どちらの端子に接続するかで微妙に音質が異なる場合があります。お試しの上お好みの端子をご利用ください。

Ⅱ.2 組のスピーカーケーブルを使用したバイワイヤー接続

付属のジャンパーストラップを取り外し、高域用／低域用ケーブルをそれぞれの端子に接続します。2 組のスピーカーケーブルには、同じ長さで同一仕様の物をご使用になることをお勧めします。

Ⅲ.内蔵ネットワークを使用し 2 組のパワーアンプを用いたバイアンプ駆動

付属のジャンパーストラップを取り外し、スピーカーケーブルを使用して高域用／低域用アンプをそれぞれの端子に接続します。ご使用になる 2 組のパワーアンプは同一である必要はありませんが、出力性能が近いものでゲイン（アンプの増幅率、利得）が同じもの、またはあらかじめ入力調整により同一ゲインに設定したものをご使用ください。

※ジャンパーストラップを使用する際は、ストラップと導線がそれぞれ確実に端子に締め付けられていることをご確認ください。また、ケーブルの導線が他のストラップに触れてショートしないよう、十分ご注意ください。

≪ 調整 ≫

接続が完了しましたら、聴き慣れた音楽ソフトなどを再生しながらコントロール･スイッチを操作し、お好みの音色が得られるよう調整してください。

①低域補正スイッチ(Low Frequency Compensation：Normal / Contour / Boundary)

部屋での設置位置の影響を受けやすい低域のレベルを調整します。附属の壁面ブラケットによりスピーカーを部屋の壁面に設置した場合、または専用スタンドを使用して壁面に近接して設置した場合などは、“Boundary”ポジションでご使用ください。本機を専用スタンドでご使用の場合、壁面の反射や定在波の影響により低域が膨らみ音程が不明瞭に感じられる際には、“Contour”ポジションを選択してください。壁面や家具などから周囲 1m 以上離れた場所に設置した場合には、“Normal”ポジションで適度な低域の量感が得られるはずです。

②高域レベルコントロールスイッチ(Tweeter Level：-1 / -0.5 / 0 / +0.5 / +1 dB)

高域用ツイーターユニットのレベルを微調整します。比較的響きの多いライブな部屋で使用する場合など高域が強く明るすぎるように感じられる場合は、“-1”または“-0.5”のポジションを選択してください。響きが抑えられ、穏やかな音調となります。反対に響きの少ないデットな部屋で使用する場合など、高域が弱く暗い音調に感じる場合は、“+0.5”または“+1”のポジションにセットすることで程良い高域バランスで再生する事が出来ます。

③アクシス･コントロール(Listener Axis：On Axis / Off Axis)

スピーカーの設置位置の高さによる定位感と音響バランスのズレを補正します。本機を専用スタンドに取り付けて使用する場合、またはリスニング位置でのリスナーの耳の高さに近い高さの壁面に設置した場合は、“On Axis”ポジションでご使用ください。本機を壁面上部に設置した場合など、スピーカーがリスナーの耳の位置よりも 1m 以上高い場所に設置された場合には、“Off Axis”ポジションに切り替えることで、ユニット間の位相を調整し自然な音像定位と音響バランスが得られます。

6： グ リ ル の 取 り 付 け

本機には、ユニットを埃から保護するマグネットキャッチ式のグリルが附属しています。フロントバッフルを蓋うようにグリルを被せてください。

7： 保 守

お手入れの際は、乾いた布で表面を掃くようにして埃を取り除いてください。汚れがひどい時は、湿らせた布などで表面を拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを含む揮発性の薬品で拭いたり、近くで殺虫剤などを散布したりしないでください。

[注意]

スピーカーのユニット表面に埃が着いた時は、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧に埃を払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。

REVEL AUDIO

8： 仕 様

機種名	ULTIMA GEM2
形式	3ｳｪｲ･ｺﾝﾊﾟｸﾄ･ｽﾋﾟｰｶｰ
使用ユニット：ｳｰﾌｧｰ ﾐｯﾄﾞﾊｲ ﾂｲｰﾀｰ	200mm 径ﾁﾀﾝ･ｲﾝﾊﾞｰﾃｯﾄﾞﾄﾞｰﾑ 100mm 径ﾁﾀﾝ･ｲﾝﾊﾞｰﾃｯﾄﾞﾄﾞｰﾑ 25mm 径ﾍﾞﾘﾘｭｰﾑ･ﾄﾞｰﾑ
再生周波数帯域：-3dB ：-6dB	70Hz ～ 45kHz 60Hz ～ 50kHz
低域再生能力(-10dB)	48Hz
推奨アンプ出力(8Ω)	50W～400W
出力音圧レベル	86.5dB(2.83V/1m)
クロスオーバー周波数	400Hz,2.3kHz
インピーダンス	6Ω
外形寸法(幅×高さ×奥行)	305×615×137mm
梱包重量	17.2kg
備考	防磁構造 / ﾊﾞｲﾜｲﾔｰ端子装備

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社
ホームページ http://www.harman-japan.co.jp
製品に関するお問い合わせは、下記マーケティング部まで、
修理に関するお問い合わせは、東京サービスセンターまでご連絡ください。

本社・営業部	〒110-0005	東京都台東区上野 5-7-7 公徳堂ビル 4F	TEL03-3836-5641(代) FAX 03-3835-3084
マーケティング部	〒110-0005	東京都台東区上野 5-7-7 公徳堂ビル 2F	TEL03-3836-5660(代) FAX 03-5688-0024
東京サービスセンター	〒135-0033	東京都江東区深川 1－6－29 結城運輸倉庫㈱内	TEL 03-5639-3011(代) FAX 03-5639-3044
大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 5-12-15 双葉ビル 602 号	TEL 06-6301-1396(代) FAX 06-6307-2861
福岡営業所	〒816-0084	福岡県春日市上白水 4-40	TEL092-573-2023(代) FAX 092-583-6050

MKT.2007.9.18